

新現時乗大馬兩翼從雲霧飛來といふ文
其以て能くもや

陸奥語記曰頼時爲流矢所中還幸海柵死
とあり新時の安倍氏まで始の名ハ新良是
貞任宗任亦の親なりけ文を見れば幸海柵
奥州にありて新時ハ吾祖の様よ見へ侍れ
とも東鑑を見ればたふあゝと九と卷文
治五年七月ホ七日条下に二品歷々覽安倍
頼時本名頼義ナリ衣河遺跡給郭土空残秋草鎖
号數千町礎石何在カ舊苔埋号カ百餘年頼

時掠領国郡之昔點此所構家屋男子者
并殿盲目尉河次郎貞任鳥海三郎宗任
境講師官照黑沢尻五郎正任白鳥八郎
行任等也女子者有加一乃末陪中加一乃
末陪一加一乃末陪也已上八人男女子宅
並簷即從小屋閨門西界於白河関爲十
餘日行程東據於外濱乎云々是又其と見
まハ新時の館ハ衣川と見へけり始の名陸
奥語記より新良とあり東鑑の細注より新
良とあり并殿事未考盲目とあれを別る